

## 第三者評価結果（児童自立支援助事業）

種別：	児童自立生活援助事業
-----	------------

### ①第三者評価機関名

(社福)山口県社会福祉協議会

### ②施設名等

名称：	そなえ
施設長氏名：	末廣 博美
定員：	6名
所在地(都道府県)：	山口県
URL：	<a href="http://www.toride2016.com">http://www.toride2016.com</a>

### ③実施調査日

開始日	2021/5/11
評価結果確定日	2022/1/4

### ④総評

#### ◇特に評価の高い点

日々、直接接する職員個々の献身的かつ不断の努力によって、子どもの安心と安寧の暮らしが支えられていることが十分にうかがえました。食堂や居間における日常会話の中で悩みや要望も語られている様子は、現下の社会的な要請に十分に応え得るものようです。「約束事」は自制心を育み醸成させていくものとして、随時検討され、貴重な発達段階の機会と個別の到達目標は、今後の人生に有意義であると思料します。一軒家での共同生活もまた、さまざまな制約のある暮らしの中でも将来の私像には貴重な成長に向けての日々となることをしっかりと説明しながら営まれています。ホームの概要については、法人全体でのホームページ上で公開され、単年度事業計画、収支報告もその透明性は担保されています。市役所や児童相談所、市消防局や警察署、医療機関等とも連携して、事業所への協力体制も構築されており、安全と安心ある暮らしの場となっています。

#### ◇改善を求められる点

前回の第三者評価結果は管理者をはじめ職員に周知されておらず、改善計画の立案もないため、評価調査結果を活かす取り組みはありませんでした。今回の自己評価までの間に組織的な論議の対象ではなかった反面では、法人ホームページ上では評価結果が公表しているなど、法人及び事業所の第三者評価を受審する意図と目的が理解できませんでした。これらの経緯と取り組み状況が今回の評価結果に如実に表れたこととなっています。個別支援の充実、日々の職員個々の丁寧な引継ぎや工夫に終始したものであり、善意の具現化に過ぎません。アセスメントをはじめ、子ども個々が主体的に「する活動」や「なりたい自分像」を想像し、心身の発達段階を踏まえての支援の工夫は、組織的に行われてこそ、より充実したものであること、そのためには意図的、計画的、目的意識性のある法人運営が重要です。貴重な事業部門として位置づけての法人運営を望みます。

### ⑤第三者評価結果に対する施設のコメント

指摘を受けた箇所や評価を職員間で話し合い評価結果を活かした取り組みをしていきたいと思っております。

## 第三者評価結果（児童自立生活援助事業）

### I 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

(1) 理念・基本方針が確立・周知されている。	第三者 評価結果
① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>(特に評価が高い点) 法人としての理念は、社会的存在意義を含めて掲げられています。その一部門としての当該事業所の理念や基本方針は、「そなえでの生活の約束」の中に集約されています。</p> <p>(改善が求められる点) 理念や基本方針について、職員のみにとどまらず、子どもや家族には事前に周知していく取組が必要です。事業所の規則にとどまらずに入居する子どもを主体、主語にした基本方針も望みます。</p>	

#### I-2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者 評価結果
① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	c
② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>(特に評価が高い点)</p> <p>(改善が求められる点) 法人としては、「地域で子どもを育てる」ことができる様々な取組をしていますが、そのために、自立援助ホームの経営状況や課題等を、管理者をはじめ全職員にも共有していくことが求められます。</p>	

#### I-3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者 評価結果
① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c
② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	c
(2) 事業計画が適切に策定されている。	第三者 評価結果
① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>(特に評価が高い点) 単年度事業計画は策定され、公開されています。</p> <p>(改善が求められる点) 組織を継続的に維持していくために、3年や5年先の将来を描き、計画的な事業運営をしていくことが必要となります。中・長期計画の策定に取り組まれることを望みます。</p>	

#### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第三者 評価結果
① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	c
② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>(特に評価が高い点) 職員間の日々の意思疎通には意識的な工夫が見られ、子どもの状況も共有されています。</p> <p>(改善が求められる点) まずは、前回の第三者評価事業の結果を確認すること、併せて今回の結果を踏まえると、法人及び当該事業所での改善計画の立案と実行の必要度が高いと感じることから、一つずつ取り組まれることを望みます。</p>	

## II 組織の運営管理

### II-1 管理者の責任とリーダーシップ

(1) 管理者の責任が明確にされている。	第三者 評価結果
① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	c
② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	c
(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	第三者 評価結果
① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	c
② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>(特に評価が高い点) 管理職や他の職員とのヒアリングにより、理事長が職員育成に力を入れている様子を確認することができました。</p> <p>(改善が求められる点) 理事長と管理者との役割分担を図り、職員との共通言語を通しての組織的な取組に発展することが求められます。個別支援計画と実行のための日常の中での研鑽が組織的、計画的に進められるように望みます。</p>	

### II-2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	第三者 評価結果
① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
② 総合的な人事管理が行われている。	c
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	第三者 評価結果
① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	b
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	第三者 評価結果
① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	c
② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	c
③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	c
(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	第三者 評価結果
① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>(特に評価が高い点) 職員間での日々のミーティングにおいて自己研鑽や模索をする姿勢は十分にうかがえました。</p> <p>(改善が求められる点) 法人全体で年3回研修会を実施していますが、今後は、個々の職員の目標管理に応じた研修体系の整備が図られていくことを期待します。また、日常の支援内容と成果の振り返り自体が貴重な研修機会として活用してみましよう。</p>	

## II-3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	第三者 評価結果
① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>(特に評価が高い点) 法人ホームページや情報紙の内容が充実しており、法人の活動がわかりやすく紹介されている。また、各年度の事業計画や収支・実績報告も公開されています。</p> <p>(改善が求められる点) 情報の不均衡にある社会状況において、法人ホームページ上での公開だけでは周知されているとは言い切れません。そのようなことを踏まえて、さらなる工夫を期待します。</p>	

## II-4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。	第三者 評価結果
① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
(2) 関係機関との連携が確保されている。	第三者 評価結果
① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	第三者 評価結果
① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	b
② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>(特に評価が高い点) ボランティアを積極的に受け入れるとともに、地域に根ざした活動が法人全体では展開されています。</p> <p>(改善が求められる点) 自立支援ホームがある地域との交流が深まっていくことや、入居している子どもの、地域と結びついていく機会を創造することなど、さらなる工夫を期待します。</p>	

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施  
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	第三者 評価結果
① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	c
② 利用者のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	c
(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	第三者 評価結果
① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	b
② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	b
③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	c
(3) 利用者満足の向上に努めている。	第三者 評価結果
① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	第三者 評価結果
① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	b
③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	第三者 評価結果
① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	c
② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	c
③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>(特に評価が高い点) 市消防局と連携して年一回の避難訓練を計画し、実施している。</p> <p>(改善が求められる点) 昼間の消防訓練について、緊急要請から消防・救急の到着時間までの自主防災計画の検討とそれだけにとどまることなく、立地についてのハザードマップも踏まえて、自治会や自治体との連携体制の検討を望みます。</p>	

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	第三者 評価結果
① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	c
② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	c
(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	第三者 評価結果
① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。	b
② 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	b
(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	第三者 評価結果
① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b
② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	c
(特に評価が高い点、改善が求められる点) (特に評価が高い点) 個別支援については日常の申し送りや職員会議等で職員間でされています。  (改善が求められる点) モニタリングに基づく再アセスメントやヒヤリハット報告書、事故報告書を踏まえての、支援方法の具体の検証が十分であるとはいえません。子どもの自立支援についての職員間での共通理解と熟考を望みます。また、ヒヤリハット報告書と事故報告書の記載事項の区分が不明確でした。	

## 第三者評価結果（児童自立援助事業）

### A-1 利用者の尊重

(1) 利用者の尊重	第三者 評価結果
① 入居に際して、ホームでの生活や約束ごとを説明し、子どもたちがよく理解したうえで、自らの意思によって入居申込みができるように配慮している。	b
② 入居に際しての約束は、子どもの自立心を育むための目的と内容で行われている。	b
③ ホームの行う援助を説明し、子どもが援助内容を決定するプロセスに主体的に参加できるようにしている。	a
④ 職員との緊密な関係を通し子どもの自尊心が育まれるよう支援している。	a
⑤ 本人に出生や生い立ち、家族の状況等を伝える場合には、本人が理解できるように配慮している。	a
⑥ 体罰を行わないように徹底している。	a
⑦ 不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a
⑧ 子どもや保護者の思想や信教の自由は、他の子どもや保護者の権利を妨げない範囲で保障している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>(特に評価が高い点) 自立支援計画書について、半年毎に子どもと一緒に「振り返り」を行い、また達成度を確認して、子どもの自立心を促しておられることを確認しました。</p> <p>(改善が求められる点) 「そなえでの生活の約束」の説明にあたり、子どもが理解し、納得する工夫を更に図ること、子どもを主語にするなど規則化、押し付けされていない工夫を期待します。また意見箱の設置など、子どもが意見を言う環境・機会の拡充を望みます。</p>	

### A-2 日常生活支援サービス

2-(1) 援助の基本	第三者 評価結果
① 子どもと職員の信頼関係を構築するために、受容的・支持的な関わりを行っている。	a
② 子どもの発達段階や課題に考慮した援助を行っている。	a
③ あらゆる社会資源と連携しながら、子どもの自立を支援するためソーシャルワークを行っている。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>(特に評価が高い点) 日常生活の中で子どもと個別で関わる時間を取られ、信頼関係構築に努めておられます。</p> <p>(改善が求められる点) 「約束事」遵守が、時として二枚折一を迫って、子どもにとっての精神的な逃げ場や拠り所を見失っての外出事案もあり、発達過程の課題として目的意識性をもつての支援となるようにさらなる工夫を望みます。</p>	
2-(2) 食生活	第三者 評価結果
① バランスのとれた食事に配慮し、食卓が安心感を得ることのできる場所となるよう配慮している。	a
② 子どもの生活時間にあわせた食事の時間を設定している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>(特に評価が高い点) 「食事は独りではさせない・食事時の会話を大切に」という明確な方針のもと、子どもが安心して食事できる環境づくりに努めておられます。</p> <p>(改善が求められる点) 特にありません。</p>	

2- (3) 衣生活	第三者 評価結果
① 衣服は清潔で、TPOに応じたふさわしい服装となるよう助言している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>(特に評価が高い点) 衣類の選択や管理について、子どもの自主性を尊重し、また個別に支援されています。</p> <p>(改善が求められる点) 特にありません。</p>	

2- (4) 住生活	第三者 評価結果
① ホーム全体は、生活の場としての安全性や快適さを配慮したものになっている。	b
② 居室等の整理整頓、掃除等の習慣が定着するよう援助している。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>(特に評価が高い点) 事業所全体は、明るく、温かく、安心できる雰囲気を感じます。</p> <p>(改善が求められる点) 間仕切りによるプライバシー保護、冷暖の設置や間仕切りなど住環境の整備の努力をしておられますが、居室が狭いという点では本人にとって快適な居場所であるとは言い難いように感じました。</p>	

2- (5) 衛生管理、健康管理、安全管理	第三者 評価結果
① 身体の健康を自己管理できるよう援助している。	b
② 一人ひとりの子どもの健康を管理するとともに、必要な場合には医療機関等を利用するなど適切に対応している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>(特に評価が高い点) 子どもの健康状態や生活状況を把握し、自己管理の意識づけをされています。</p> <p>(改善が求められる点) 健康管理には一層のきめ細かさを望みます。集団生活ですので、新型コロナウイルス・インフルエンザ等感染症予防対策を確実に実施されることを願います。特に、感染防止や蔓延防止に関する指針やマニュアルはファイリングして実効性が薄くなっていますので改善を望みます。</p>	

2- (6) 問題行動に対する対応	第三者 評価結果
① 子どもの問題行動に適切に対応し、その理由を子どもに分かるよう説明している。	b
② ホーム内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないようホーム全体に徹底している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>(特に評価が高い点) 子どもが孤立しないように努めておられます。</p> <p>(改善が求められる点) 子どもの問題行動や暴力に対する因果関係の分析、職員対応のルール化等について組織として検討することを期待します。PDCAの具現化を望みます。</p>	

2- (7) 自主性、自律性を尊重した日常生活	第三者 評価結果
① 子ども自身が自らの生活全般について考え、主体性をもって生活ができるよう援助している。	a
② 休日等に子どもが自由に過ごせるよう配慮している。	a
③ 金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう援助している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>(特に評価が高い点) 子どもが日常生活の経験を通して自立していくよう、子どもの自主性・主体性を尊重しながら、生活全般の見守り・援助を行っておられます。</p> <p>(改善が求められる点) 自己管理＝自己責任ではなく、経済観念の必要性を学ぶ機会と支援の工夫をより充実されることを期待します。</p>	



2- (8) 社会生活支援（学習支援、進路指導等）	第三者 評価結果
① 進学を希望する子どもには、学習環境を整備し、学力に応じた学習支援を行っている。	b
② 社会生活を通して、子どもが人格の尊さを学び、自分や他人の権利を尊重し、共に生きることができるよう支援している。	a
③ 性について正しい知識を身につけ、お互いの人格を尊重し合えるような異性関係が築けるよう支援している。	b
<p>（特に評価が高い点、改善が求められる点）  （特に評価が高い点）  子どもの社会生活上の課題・希望について、積極的かつ個別に相談に応じる姿勢が伺えます。</p> <p>（改善が求められる点）  県助産師会等とも連携して、子どもの性教育について、事業所として専門的、組織的に取り組む体制の構築を期待します。</p>	

2- (9) メンタルヘルス	第三者 評価結果
① 虐待を受けた子どもなど心理的なケアが必要な場合は、関係機関と連携している。	b
<p>（特に評価が高い点、改善が求められる点）  （特に評価が高い点）  日常生活で、子どもの心理面に配慮した対応をされています。</p> <p>（改善が求められる点）  臨床心理士等の専門家や関係機関との連携体制づくりを期待します。子ども本人が受診してみようとする気になる支援の工夫を望みます。</p>	

2- (10) 家族とのつながり	第三者 評価結果
① 児童相談所や関係諸機関と連携し、子どもと家族との関係調整を図ったり家族からの相談に応じる体制ができている。	a
② 子どもにとって家族関係の調整が必要な場合は、状況を把握して、面会、外出、一時帰省などを行っている。	a
③ 虐待を受けた子ども等、保護者からの強引な引き取りの危険性がある場合、関係諸機関との連携により、子どもの権利と安全が守られるよう取り組んでいる。	a
<p>（特に評価が高い点、改善が求められる点）  （特に評価が高い点）  児童相談所との連携のもと、コロナ禍という状況を踏まえて子どもや家族に応じた援助が行われています。</p> <p>（改善が求められる点）  関係性を前提に、世情を加味してのより良い工夫を望みます。</p>	

2- (11) 退居の決定・退居後のかかわり	第三者 評価結果
① 退居後の生活の計画が作成され、子どもと退居後の生活を話し合った上で退居を決定している。	a
② 退居後の子どもに継続的に支援している。	a
<p>（特に評価が高い点、改善が求められる点）  （特に評価が高い点）  法人内のアフターケア事業所と連携して退居に向けた取組を行っており、また退居後も子ども達との関わりをしっかりとっておられます。</p> <p>（改善が求められる点）  退居後の子どもの姿が、現在と今後の支援や事業所の在り方を総括するという視点で、より一層の目的意識性のある工夫を望みます。</p>	